

四中だより

No. 15

令和2年(2020年)12月25日

枚方市立第四中学校

校長 鶴島 茂樹

<終業式・・・新しい年、新しい学期に向けて>

〇1, 2年生のみなさんへ

生徒会本部役員も交代し、いよいよ学校づくりの主役が3年生から2年生へとバトンタッチされた2学期でした。各クラス、各学年で2学期の反省をしっかりとしたいと思います。

数々の失敗もあったことでしょう。でも失敗することは誰にでもあるし、そもそも学校は失敗することから学び、1歩ずつ成長していくための場所なのです。

失敗をいつまでも悔やむ必要はありません。大切なことは、同じ失敗を繰り返さないということなのです。みなさんの今後のさらなる成長を大いに期待しています。

〇3年生のみなさんへ

さて、いよいよ自分の進路を決定しなければならない時期がやってきました。おそらく、みなさんの多くは、自分の希望する進学先に受かるか受からないかということが一番気になっていることでしょう。

しかし、言うまでもなく「進路」は「行き先」だけの問題ではありません。大切なことは、そこへ行って自分は何をするのか、どんな生活をするのか、そして、それをその先の将来へとどうつなげるのかということなのです。

例えば、高校の評判やランクや偏差値などは、自分の「生き方」には本来関係ないのです。そんなもので自分の価値や将来は決まりません。それを決めるのは自分自身の意志と努力なのです。

そこへ行って自分がどう生活し、どう生きるのか、ということが大切なのです。冬休み、今やるべきことに全力で取り組んでください。しんどいかもしれませんがクラスや学年の仲間もみんな同じ立場です。きっと支え合えるはずですよ。

<何のために「学ぶ」のか> ～94歳の小学生～

先日、テレビのニュースで、「GOGO(ゴゴ)94歳の小学生」というドキュメンタリー映画についての報道を偶然観ました。映画そのものは、まだ封切られていないのですが、タイトルにつられて、内容を調べてみました。

その「小学生」は1923年に生まれたケニアのプリシラ・ステナイさん。通称ゴゴ(現地の言葉でおばあちゃんの意味)。彼女は牛の世話に追われて、小学校にも行ってませんでした。

以来、90歳を超えるまで学校という場で学ぶことがありませんでしたが、自分のひ孫たちも学校に通っていないことに気づき、教育の大切さを痛感していたゴゴは、周囲を説得して、ひ孫たちと共に小学校へ入学したのです。

年下のクラスメイトたちと同じように寄宿舎で寝起きし、制服を着て授業を受けます。すっかり耳は遠くなり、目の具合も悪いため勉強するのは一苦勞・・・それでも教師やクラスメイトたちに応援されながら、ついに卒業試験に挑みます・・・

ゴゴは、「この世にいる限り、助け合うんだ。そして学ぶ。」と繰り返し語ります。長い人生経験を積んできた彼女は、助け合いや知識こそが世界を変えることを誰よりもよく知っています・・・。

日本でも、3年ほど前、35歳で中学校を卒業した女性のことが紹介されたことがあります。その方も様々な事情があって、小学校にも中学校にも通うことが認められなかったそうです。子どもの頃は、近所の、同世代の子どもたちが学校に当たり前に通っているのに、自分だけどうすることも出来ないで、悔しい思いをしたそうです。大人になり30歳を超えてから、ようやく中学校への編入が認められました。30歳をこえてからの初めての義務教育。数学などは、九九を覚えることから勉強したそうです。

その方は番組の中で、学ぶことの喜びを語っておられました。学ぶことで初めて世の中の色々な仕組みがわかり、専門学校へ進んで法律を学んで、自分と同じような立場の人を助けようという新しい目標が出来たことを、涙ながらに話しておられました。

世界では、紛争や貧困、差別や病気のために学校へ行くことが出来ない子どもが、1億人以上もいると言われていています。みなさんは、この言葉は知っていると思います。パキスタン出身のマララ ユルフザイさんの国連でのスピーチの一節です。

「One child one teacher one book and one pen can change the world」
(一人の子ども、一人の先生、一冊の本、そして一本のペンが、世界を変えることが出来る。)・・・これは、彼女が学ぶ場をうばわれたからこそ、学ぶことの大切さを知り、それを全世界に訴えた強烈なメッセージです。

みなさんは、「なんのために勉強するのか」と考えたことはないでしょうか。「こんなこと覚えて役に立つのか？」と・・・人によって違うだろうし、答えはなかなか出ないと思いますが、少なくとも、学校という場があり、仲間と共に学ぶ機会があることの大切さは、感じ取ってほしいと思います。「受験」を目の前にした3年生も含めて、学ぶことの本当の意義について考えてみる機会も持ってください。冬休み、自分なりにしっかり学びましょう！！

<保護者の皆様へ>

コロナ禍のなか、いろいろとご心配をおかけしましたが、子どもたちの頑張りでも、無事2学期を終えることができました。ありがとうございました。来年もよろしくお願い致します。